

貧困研究会

第10回定例研究会 の お し ら せ

昨年秋以降の非正規労働者の大量解雇や雇い止めは、ほとんどが派遣や請負といった間接雇用形態で働いているブラジル人・ペルー人をはじめとする「外国人労働者」にも及んでおり、彼・彼女らとその家族の生活にも大きな影響を及ぼしています。

そこで、(日系)ブラジル人労働者問題について、日本とブラジルの実態調査に基づき精力的に研究されている丹野清人さん(首都大学東京)をお呼びして、その実態についてご報告いただきます。丹野さんは、政府や財界等の「外国人労働者問題」に関する研究会の委員も務めておられるので、政策的な動向なども踏まえながら、(日系)ブラジル人労働者の就労、生活問題とその対策について議論したいと思います。

日 時 : 2009 年 4 月 25 日(土) 午後 3 時から 6 時

報 告 者 : 丹野清人さん(首都大学東京)

報 告 内 容 : 外国人労働者の就労問題(仮)

討 論 者 : 村上英吾さん(日本大学)

会 場 : 日本大学経済学部

7号館9階7091教室

(JR水道橋駅から徒歩約2分)

参考文献: 丹野清人『越境する雇用システムと外国人労働者』東京大学出版会(2007年)

※参加費 500円

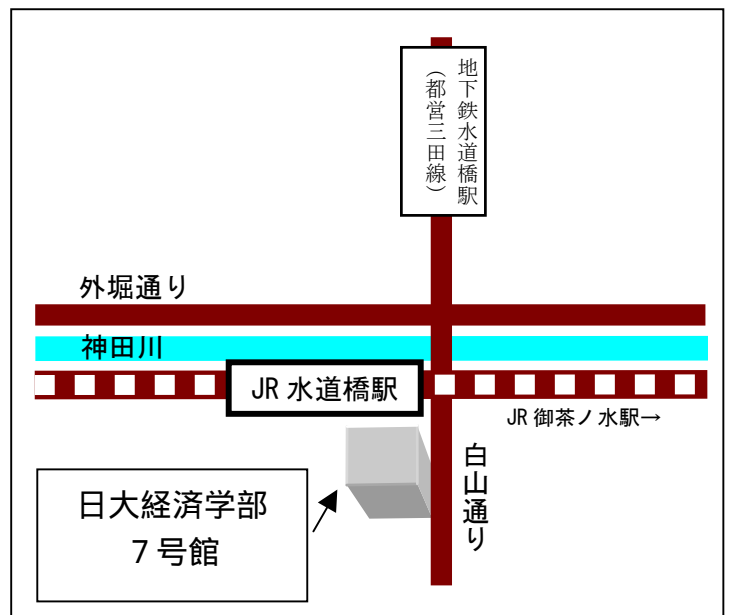
※非会員の方も参加できます。事前の参加連絡は不要です。

○●貧困研究会について●○

「貧困研究会」は、さまざまな領域における貧困に関する調査・研究を行ない、その成果を公開するとともに、国内外の研究者相互の交流と協力の促進を行なう事を目的にして、2007年12月に設立したばかりの、領域横断的な研究会です。

代 表 岩田正美(日本女子大学)

副代表 杉村 宏(法政大学)



主催 貧困研究会(hinkon kenkyukai)

e-mail hinkonken@mac.com

http://wwwsoc.nii.ac.jp/hinkon/